平成２４年度「めざす成果」施策評価シート

６－１－１　生涯学習に取り組む人が増えている

総合計画体系	健康領域・基本目標	社会の健康・豊かな心を育むまち
	個別目標	いつでも学べる場と機会を充実する
	めざす成果	生涯学習に取り組む人が増えている
		様々な学習機会が提供されることにより、生涯学習に取り組む人が増え、また、その活動成果が地域に活かされています。

◎所管部長：文化スポーツ部長　金守　孝次

（単位：千円）

総事業費	H21	H22	H23	H24（予算）
	435,553	357,080	369,950	380,629

これまでの取り組みによる成果　≪前期基本計画期間のうち平成21年度から23年度まで≫

・市民がいつでも学べる機会と場を充実するために、新渋谷学習センター（イコーザ）の建設にあわせ、市民の学習ニーズに合わせた施設の機能を充実させたほか、他の学習センター４館の安全維持のための施設改修や、より身近な場で学習できる小中学校の特別教室開放事業（４校から９校に増加）を実施し、学習機会の提供や市民主体のさまざまな事業を展開したことにより、平成２０年度に比べて、学習施設の利用者が３％増えました。また、２３年度には、市民の一層の生涯学習の充実を目指し生涯学習推進計画を策定し、今年度からは学習機会提供の一層の充実を図っていくこととしました。
・こどもの読書活動推進のため、ブックスタートや「子どもの本」重点収集などに取り組み、おはなし会の参加者が平成２２年度に比べ、２６％増加するなど、こどもの読書に関する環境が充実しました。また、図書館利用者の利便性向上を図るために、蔵書の充実と鉄道駅への図書返却ポストの設置、図書館システムの更新等を行い、平成２０年度に比べ市民１人あたりの年間図書貸出数冊数が１５％増加しました。

「めざす成果」を達成するための施策展開（ロジックツリー）

めざす成果	具体的な施策	取り組み内容	事業名	担当課
① 生涯学習に取り組む人が増えている	市民の間での生涯学習活動を活発にする	市民が、生涯学習に関する情報を得られたり、相談できたりする場をつくる	生涯学習情報提供･学習相談事業	生涯学習センター
		生涯学習を気軽に行える機会を提供する	講座等開催事業	生涯学習センター
			市民大学事業	生涯学習センター
			出前講座「どこでも講座」事業	生涯学習センター
			社会教育啓発事業	生涯学習センター
			読書活動推進事業	図書館
			総合学習事業	図書館
			視聴覚ライブラリー管理運営事業	図書館
		③ 市民が求める図書資料や情報を的確に入手することができるようにする	図書資料貸出事業	図書館
			図書情報提供事業	図書館
			図書のリサイクル事業	図書館
		市民の学習活動に必要な施設を確保する	生涯学習センターホール施設維持管理事務	生涯学習センター
			学習センター施設維持管理事務	生涯学習センター
			学習センター施設整備事業	生涯学習センター
			学習センター会議室等貸出事務	生涯学習センター
			生涯学習センターホール貸出事務	生涯学習センター
			特別教室開放事業	生涯学習センター
			図書館施設維持管理事務	図書館
		市民、団体の生涯学習活動を促進する	社会教育関係団体登録･育成事業	生涯学習センター
			PTA連絡協議会支援事業	生涯学習センター
			生涯学習センター地域文化振興事業	生涯学習センター
			林間学習センター地域文化振興事業	生涯学習センター
			渋谷学習センター地域文化振興事業	生涯学習センター
			つきみ野学習センター地域文化振興事業	生涯学習センター
			桜丘学習センター地域文化振興事業	生涯学習センター
			教育委員会褒章事業	教育総務課
		② 市民が身に付けた知識や経験を地域の中で活用できるようにする	生涯学習情報提供･学習相談事業（再掲）	生涯学習センター
			図書ボランティア養成講座事業	図書館
	効率的、効果的な生涯学習施策を展開する	市の生涯学習を振興するための推進体制を整える	生涯学習総合推進事業	生涯学習センター
			社会教育委員会議運営事務	生涯学習センター

主要な事務事業（平成二十三年度事業の事務事業評価結果転載）

（単位：千円）

事務事業名	H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24予算額	今後の方向性
	法令等の義務	実施手法		財源構成	
事務事業の目的					
特別教室開放事業	9,464	9,511	10,311	10,868	見直し継続
	有	直営		一財	
生涯学習とコミュニティ活動の場を提供します。					
生涯学習センター地域文化振興事業	70	70	70	70	見直し継続
	有	直営・委託		一財	
生涯学習センターを活動拠点とする団体の学習発表会など、地域住民に学習交流の場を提供して地域文化の振興を図ります。					
講座等開催事業	7,308	6,131	6,281	7,137	現状継続
	有	直営		一財	
生涯学習に取り組む機会を提供します。					
生涯学習センターホール施設維持管理事務	15,248	14,971	17,196	15,177	現状継続
	有	直営		他・一財	
生涯学習センターホールの安全かつ快適な施設環境を保持するため、施設の維持管理と改善に努めます。					
学習センター施設維持管理事務	124,661	146,231	149,787	159,442	見直し継続
	有	直営		他・一財	
学習団体の活動拠点となる学習センター（５館）の安全かつ快適な施設環境を保持するため、施設の維持管理と改善に努めます。					
生涯学習情報提供･学習相談事業	3,209	2,739	3,033	3,080	現状継続
	有	直営・委託		一財	
市民の生涯学習活動を支援します。					
学習センター施設整備事業	115,541	19,438	15,141	16,816	現状継続
	有	直営		国・市・一財	
施設の適正な機能水準を維持し、学習環境の向上を図ります。					

［注釈］＜法令等の義務＞　法律または政省令による事業実施根拠の有無
＜実　施　手　法＞　直営、委託、指定管理から選択。同一事業内で実施手法が混在するケース有り
＜財　源　構　成＞　一財:一般財源　国:国庫補助金等　県:県費補助金等　市:市債　他:その他特定財源
＜今後の方向性＞　事務事業評価の結果を踏まえた方向性

成果を計る指標

指標の名称	計画策定時（H20）	実績値（H21）	実績値（H22）	実績値（H23）	中間目標値（H23）	最終目標値（H25）
市民１人あたりの学習センター年間利用回数	4.08回	4.05回	4.25回	4.21回	4.13回	4.23回
ボランティア講師登録者数	200人	231人	177人	199人	225人	240人
市民１人あたりの年間図書貸出冊数	3.90冊	4.33冊	4.57冊	4.52冊	3.95冊	4.00冊

めざす成果に対する評価

・市民の学習ニーズに応える生涯各期や現代的課題に合わせた事業を行うとともに、市民の持つ知識を還元するボランティア講師制度の啓発や講師の会への指導助言を行うなど、市民の生涯学習の活性化を図りました。反面、講師の高齢化や固定化の傾向が見られ、改善の余地もあるため、今後も事業のさらなる充実を図っていく必要があります。
・各種講座の開催数（対前年度比１０％増）や市民大学開催数が前年度より（対前年度比１８％増）増加するなど、市民ニーズに合った事業を展開することにより、市民1人あたりの学習センター年間利用回数も目標値（４．１３回）を上回ることができ、さらに学習機会を提供していくためには新しい事業の創出が必要と考えます。
・こどもの読書活動の推進や市民の読書環境の改善等により、市民１人当たりの貸出冊数が目標値（３．９５冊）を上回っており、読書に対する市民の関心が高まっています。さらに市民の読書活動を活性化するため、多様なニーズに対応した図書資料の収集と図書館の利用環境の向上を図ることが必要です。
・今後は、大和駅東側第４地区における公益施設基本計画をもとに、読書に親しむ市民をさらに増やすことを目指し、蔵書構成の充実やＩＴの積極的な活用を図るなど、情報提供機能の向上を図るとともに、誰もが利用しやすい新図書館の整備と運営を行う必要があります。

6－1－1　生涯学習に取り組む人が増えている

（単位：千円）

主要な事務事業（平成二十三年度事業の事務事業評価結果転載）

事務事業名	H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24予算額	今後の方向性
	法令等の義務	実施手法		財源構成	
事務事業の目的					
図書資料貸出事業	121,407	114,961	134,103	123,619	現状継続
	有	直営・委託		他・一財	
利用者が必要とする図書等資料を提供します。					
読書活動推進事業	159	3,252	3,131	2,888	現状継続
	有	直営・委託		一財	
各世代にわたって、読書習慣を形成する機会を提供します。「大和市子ども読書活動推進計画」を推進して子どもの豊かな読書環境を整えます。					
図書館施設維持管理事務	33,739	35,394	40,034	36,815	見直し継続
	有	直営・委託		県・他・一財	
施設を適切に維持管理します。					

平成２４年度「めざす成果」施策評価シート

６－１－２　スポーツを楽しむ人が増えている

総合計画体系	健康領域・基本目標	社会の健康・豊かな心を育むまち
	個別目標	いつでも学べる場と機会を充実する
	めざす成果	スポーツを楽しむ人が増えている
		気軽にスポーツを楽しむことのできる環境が整い、スポーツ活動に参加している人が増えています。

◎所管部長：文化スポーツ部長　金守 孝次

（単位：千円）

総事業費	H21	H22	H23	H24（予算）
	361,956	404,714	378,764	353,421

これまでの取り組みによる成果 ≪前期基本計画期間のうち平成21年度から23年度まで≫

・生涯にわたるスポーツと健康維持・増進の場と機会を提供するため、各種スポーツ教室・スポーツ大会の開催、学校開放事業の実施とあわせて、スポーツ施設の適正な維持管理により、日常的にスポーツを楽しんでいる市民の割合が平成２０年度より２．９％増加しました。
・また、市民の健康増進に対する意識向上を目的に、スポーツフェスタや大和市民まつりの際に各種体力テストを実施したことにより、市民が自らの体力を把握する機会を提供でき、スポーツ・健康に対する市民の関心と意欲を高めることができました。

「めざす成果」を達成するための施策展開（ロジックツリー）

めざす成果	具体的な施策	取り組み内容	事業名	担当課
①、② スポーツを楽しむ人が増えている	市民の間でのスポーツ活動を活発にする	スポーツを親しめる機会を提供する	スポーツ大会開催事業	スポーツ課
			スポーツ教室開催事業	スポーツ課
			スポーツ・よか・みどり財団支援事業	文化振興課
		市民のスポーツ活動に必要な施設を確保する	スポーツセンター施設管理運営事業	スポーツ課
			野球場（つきみ野・引地台・宮久保）施設管理運営事業	スポーツ課
			野球場（下福田・下鶴間少年）施設管理運営事業	スポーツ課
			庭球場施設管理運営事業	スポーツ課
			スポーツ広場管理運営事業	スポーツ課
			宮久保スポーツ広場管理運営事業	スポーツ課
			引地川公園ゆとりの森芝生グラウンド管理運営事業	スポーツ課
			スポーツセンター施設大規模改修事業（平成22年度については未実施）	スポーツ課
			学校施設スポーツ開放事業	スポーツ課
		市民、団体のスポーツ活動を促進する	スポーツ大会選手派遣事業	スポーツ課
			スポーツ活動奨励事業	スポーツ課
			スポーツ関係団体支援事業	スポーツ課
		スポーツ指導者を育成する	スポーツ指導者育成支援事業	スポーツ課
	市民の生活の中に根ざした効果的なスポーツ施策を展開する	スポーツの普及振興を図るための推進体制を整える	スポーツ施策管理事務	スポーツ課

（単位：千円）

主要な事務事業（平成二十三年度事業の事務事業評価結果転載）	H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24予算額	今後の方向性
事務事業名	法令等の義務	実施手法		財源構成	
事務事業の目的					
野球場（つきみ野・引地台・宮久保）施設管理運営事業	52,904	53,079	48,179	47,587	見直し継続
	一部有	直営・指定管理		一財	
野球場施設を良好な状態で管理運営し、快適なスポーツ施設環境を提供します。					
宮久保スポーツ広場管理運営事業	2,426	2,426	5,629	5,629	見直し継続
	一部有	直営・指定管理		一財	
スポーツ広場を良好な状態で管理運営し、快適なスポーツ施設環境を提供します。					
引地川公園ゆとりの森芝生グラウンド管理運営事業	16,465	16,465	12,313	14,691	見直し継続
	一部有	直営・指定管理		一財	
ゆとりの森芝生グラウンドを良好な状態で管理運営し、快適なスポーツ施設環境を提供します。					
スポーツ大会開催事業	4,303	4,203	4,833	4,407	見直し継続
	一部有	直営		一財	
市民の体力向上及び競技力向上を図ります。					
スポーツ教室開催事業	4,236	4,184	4,236	4,146	見直し継続
	一部有	直営		一財	
スポーツに関心をもち、親しむ機会を提供します。					
スポーツ関係団体支援事業	4,141	3,921	3,921	4,141	見直し継続
	一部有	直営		一財	
スポーツ及びレクリエーション活動を通じて、市民の体力向上、スポーツ精神の養成、青少年の健全育成を図ります。					
学校施設スポーツ開放事業	26,474	22,158	17,127	19,486	見直し継続
	一部有	直営		他・一財	
学校施設を利用してスポーツ及びレクリエーション活動の場を提供します。					
スポーツセンター施設管理運営事業	176,517	179,280	163,140	162,356	見直し継続
	一部有	直営・指定管理		一財	
大和スポーツセンター施設の管理運営を行い、良好なスポーツ施設環境を提供します。					

［注釈］＜法令等の義務＞　法律または政省令による事業実施根拠の有無
＜実　施　手　法＞　直営、委託、指定管理から選択。同一事業内で実施手法が混在するケース有り
＜財　源　構　成＞　一財：一般財源　国：国庫補助金等　県：県費補助金等　市：市債　他：その他特定財源
＜今後の方向性＞　事務事業評価の結果を踏まえた方向性

成果を計る指標

指標の名称	計画策定時（H20）	実績値（H21）	実績値（H22）	実績値（H23）	中間目標値（H23）	最終目標値（H25）
日常的にスポーツを楽しんでいる市民の割合	33.2%			36.1%	34.5%	35.0%
市民１人あたりのスポーツ施設年間利用回数	6.12回	6.03回	5.70回	5.62回	6.15回	6.30回

めざす成果に対する評価

・これまで、市民の体力づくり・健康増進を図り、スポーツに親しむことができるように、様々な参加型のスポーツ教室・大会の開催や各種団体等への支援、スポーツ施設の環境整備に取り組んできました。その結果、スポーツに対する市民の関心が高まり、日常的にスポーツを楽しんでいる市民の割合が目標値（34．5%）を上回り、市民が積極的にスポーツに参加している状況が整いつつあると考えます。
・今後も市民ニーズに対応したスポーツに親しめる機会を提供するためには、スポーツ活動に必要な施設の整備が必要です。市民1人あたりのスポーツ施設年間利用回数（目標値6．15回）の増加を目指して、スポーツセンターや引地台野球場など、市民が安全で快適にスポーツを楽しむための施設環境の整備に努めます。
・「大和なでしこカップ」や「女子サッカー観戦デー」を新たに開催し、市民がより気軽にスポーツに親しめる場と機会を提供しました。今後は総合型地域スポーツクラブを見据えた女子サッカーを支援していきますが、そのためには新たな事業展開と活動拠点の確保が必要となります。

6－1－2　スポーツを楽しむ人が増えている

（単位：千円）

主要な事務事業（平成二十三年度事業の事務事業評価結果転載）

事務事業名	H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24予算額	今後の方向性
	法令等の義務	実施手法		財源構成	
事務事業の目的					
庭球場施設管理運営事業	22,933	24,057	22,664	21,155	見直し継続
	一部有	直営・指定管理		一財	
庭球場を良好な状態で管理運営し、快適なスポーツ施設環境を提供します。					
スポーツ広場管理運営事業	14,648	22,817	23,564	32,719	見直し継続
	一部有	直営・指定管理		一財	
スポーツ広場を良好な状態で管理運営し、快適なスポーツ施設環境を提供します。					
野球場（下福田・下鶴間少年）施設管理運営事業	27,513	27,339	28,502	27,472	見直し継続
	一部有	直営・指定管理		一財	
野球場施設を良好な状態で管理運営し、快適なスポーツ施設環境を提供します。					
スポーツセンター施設大規模改修事業	0	37,338	0	0	見直し継続
	一部有	直営		一財	
施設の適正な機能水準を維持し、安全で快適なスポーツ環境を整えます。					

平成２４年度「めざす成果」施策評価シート

６－２－１　多様な芸術や文化が育っている

総合計画体系	健康領域・基本目標	社会の健康・豊かな心を育むまち
	個別目標	大和の文化を守り育てる
	めざす成果	多様な芸術や文化が育っている
		様々な分野の芸術、文化団体が組織されるなど、芸術、文化活動が活発に行われています。

◎所管部長：文化スポーツ部長 金守 孝次

（単位：千円）

総事業費	H21	H22	H23	H24（予算）
	188,414	180,583	162,885	165,486

これまでの取り組みによる成果 ≪前期基本計画期間のうち平成21年度から23年度まで≫

・文化芸術の振興に関する施策の推進及び市民の文化芸術に関する活動の充実を図るため、大和市文化芸術振興条例や文化芸術基本計画を定め、様々な施策を実施したことにより、芸術や文化活動が盛んに行われていると思う市民の割合が目標値（３７．０％）を上回りました。
・日頃の活動の発表の場や鑑賞の機会を市民に提供するための事業を実施し、文化芸術事業への来場者数が平成２２年度に比べ、３６％増加しました。
・市民団体のさらなる活動の充実を図るために文化芸術連合会の交流会を開催し、団体間の連携を促進しました。また新たな取組みとして「やまとアート１００プロジェクト」を立ち上げ、市内で開催される文化芸術イベント情報を集約して広報することにより、１１万人の方が各会場に足を運び鑑賞しました。
・子どもたちの観察力、思考力、コミュニケーション力などを養い、文化芸術に親しめる環境をつくるため、小学校における対話型美術鑑賞への取組みを開始しました。事業の実施にあたりシンポジウムの開催とボランティアスタッフの募集を行い、今後の展開に必要な体制を整えることができました。

「めざす成果」を達成するための施策展開（ロジックツリー）

めざす成果	具体的な施策	取り組み内容	事業名	担当課
① 多様な芸術や文化が育っている	市民の文化芸術活動の裾野を広げる	② 市民の文化芸術に対する関心を高める	文化芸術振興事業	文化振興課
			スポーツ･よか･みどり財団支援事業（再掲）	文化振興課
			文化振興基金管理事務	文化振興課
			生涯学習振興基金活用支援事業	文化振興課
			生涯学習振興基金管理事務	文化振興課
			音楽･演劇フェスティバル開催事業	生涯学習センター
		文化創造の場となる施設の建設を推進する	（仮称）やまと芸術文化ホール調査研究事業	文化振興課
			文化会館建設基金管理事務	文化振興課
	市民の文化芸術活動のレベルアップを図る	市民の創作活動を活発にする	文化芸術振興事業（再掲）	文化振興課
			文化創造担い手育成事業 （平成23年度新規事業）	文化振興課
		文化芸術団体の活動の充実と活動領域の拡大を図る	文化団体支援事業	文化振興課
	文化芸術を振興するための施策を効果的に推進する	文化芸術の振興を図るための推進体制を整える	文化芸術振興基本計画進行管理事業 （平成23年度新規事業）	文化振興課

（単位：千円）

主要な事務事業（平成二十三年度事業の事務事業評価結果転載） 事務事業名	H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24予算額	今後の方向性
	法令等の義務	実施手法		財源構成	
事務事業の目的					
スポーツ・よか・みどり財団支援事業	157,688	156,005	133,758	132,566	現状継続
	有	直営		一財	
文化芸術をはじめ、多様な余暇活動に関する事業を展開している（公財）大和市スポーツ・よか・みどり財団の運営を支援します。					
文化芸術振興事業	16,161	15,710	15,604	16,111	見直し継続
	一部有	直営・委託		他・一財	
市民の文化芸術活動の発表の場及び芸術鑑賞の機会を提供します。					
生涯学習振興基金活用支援事業	750	613	488	614	見直し継続
	一部有	直営		他・一財	
文化芸術及び生涯学習の振興、普及を図る活動を促進します。					
美術鑑賞推進事業	0	0	531	1,272	現状継続
	一部有	委託		一財	
小学校の美術鑑賞教育の推進を図ります。					
大和駅東側第4地区公益施設管理運営基本計画等策定事業	0	0	4,123	0	現状継続
	一部有	直営・委託		一財	
大和駅東側第４地区公益施設の管理運営基本計画を策定します。					
音楽･演劇フェスティバル開催事業	470	470	470	470	見直し継続
	有	直営		他・一財	
市の文化芸術の発展のため、市内の音楽・演劇団体に日頃の活動成果を合同発表する場と相互交流の場を提供します。					

［注釈］＜法令等の義務＞ 法律または政省令による事業実施根拠の有無
＜実 施 手 法＞ 直営、委託、指定管理から選択。同一事業内で実施手法が混在するケース有り
＜財 源 構 成＞ 一財:一般財源　国:国庫補助金等　県:県費補助金等　市:市債　他:その他特定財源
＜今後の方向性＞ 事務事業評価の結果を踏まえた方向性

成果を計る指標

指標の名称	計画策定時（H20）	実績値（H21）	実績値（H22）	実績値（H23）	中間目標値（H23）	最終目標値（H25）
芸術や文化活動が盛んに行われていると思う市民の割合	36.6%			42.4%	37.0%	38.0%
文化芸術事業（市主催・共催）来場者数	4,127人	2,536人	2,539人	2,857人	4,500人	4,600人

めざす成果に対する評価

・意識調査の結果にも表れているとおり、市民が文化芸術に触れる機会の提供や情報の発信に関わる事業の取り組みを推進してきたことは、めざす成果「多様な芸術や文化が育っている」の達成に向け、非常に効果があったと考えています。
・今後、文化芸術振興基本計画に基づく施策のさらなる推進のために、質の高い鑑賞事業や市民参加事業などの展開に必要な文化芸術の拠点となる施設の整備が重要となります。

平成２４年度「めざす成果」施策評価シート

６－２－２　郷土の文化がしっかりと引き継がれている

総合計画体系	健康領域・基本目標	社会の健康・豊かな心を育むまち
	個別目標	大和の文化を守り育てる
	めざす成果	郷土の文化がしっかりと引き継がれている
		歴史的価値のある資料が体系的に整理され、それを展示する施設を多くの人が利用しています。

◎所管部長：文化スポーツ部長　金守孝次

（単位：千円）

総事業費	H21	H22	H23	H24（予算）
	54,712	47,249	77,395	45,762

これまでの取り組みによる成果　≪前期基本計画期間のうち平成21年度から23年度まで≫

・歴史的公文書を収集し保存処置を行い目録を作成するとともに（保存総量：2463箱）、緊急雇用創出事業臨時特例基金を活用しマイクロフィルム化と画像デジタル化を行い、保管スペースの効率化を進めました（撮影数：180箱、177万コマ）。
・市内の旧家が保存している古文書の保存処置を行うとともにマイクロフィルム撮影と画像デジタル化を進め資料を未来へ引き継ぎ活用するための記録を行いました（撮影数：毎年2100～3500コマ）。
・指定重要文化財の木造阿弥陀如来立像の修理に補助を行い、文化財の保存・継承を進めました。
・指定文化財などを紹介する『大和歴史マップ』を改訂・発刊し文化財愛護の普及啓発を進めました（印刷数：1500冊）。

「めざす成果」を達成するための施策展開（ロジックツリー）

めざす成果	具体的な施策	取り組み内容	事業名	担当課
① 郷土の文化がしっかりと引き継がれている	大和市の文化財の価値や特徴を保つ	文化財を適切に保存し、市民が活用できるようにする	有形文化財保護事業	文化振興課
			無形文化財保護事業	文化振興課
			民俗文化財保護事業	文化振興課
			史跡・天然記念物保護事業	文化振興課
			指定文化財保護支援事業	文化振興課
			歴史資料提供・相談事業	文化振興課
		開発等によりやむを得ず失われてしまう文化財を記録する	埋蔵文化財保護事業	文化振興課
		文化財、歴史資料の保存、管理等を適正な方法で行う	文化財保護審議会等運営事務	文化振興課
			文化財保護管理事務	文化振興課
			文化財保管施設維持管理事業	文化振興課
			歴史的公文書収集整理事業	文化振興課
			地域歴史資料整理・保存事業	文化振興課
	市民の郷土愛の醸成を図る	市民の文化財や地域の歴史に関する理解を高める	文化財普及啓発事業	文化振興課
			大和市市史編集発刊事業	文化振興課
			歴史資料等デジタル情報化事業（平成22年度終了事業）	文化振興課
		② 市民が文化財に触れ、その価値を理解できるようにする	郷土民家園管理運営事業	文化振興課
			つる舞の里歴史資料館維持管理事務	文化振興課
			つる舞の里歴史資料館運営事業	文化振興課
			下鶴間ふるさと館維持管理運営事業	文化振興課

（単位：千円）

主要な事務事業（平成二十三年度事業の事務事業評価結果転載）	H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24予算額	今後の方向性
事務事業名	法令等の義務	実施手法	財源構成		
事務事業の目的					
歴史的公文書収集整理事業	2,676	2,861	40,358	4,447	現状維持
	有	直営	県・一財		
歴史的公文書を収集・保管し、市民への情報提供、市職員への業務履歴提供を行います。					
地域歴史資料整理・保存事業	2,135	1,538	1,865	2,181	現状維持
	有	直営	一財		
地域の歴史的資料などを市民共通の財産として有効利用を図ります。					
郷土民家園管理運営事業	8,427	8,729	9,464	9,068	現状維持
	有	指定管理	一財		
市指定文化財である２棟の古民家を移築した郷土民家園施設を適切に維持管理します。					
つる舞の里歴史資料館運営事業	2,349	2,641	2,128	5,399	現状継続
	有	直営	一財		
市民が気軽に郷土の身近な文化財に触れることができ、歴史的な探究心に応えられる機会を提供します。					
下鶴間ふるさと館維持管理運営事業	11,941	11,943	2,997	3,816	現状継続
	有	直営	一財		
下鶴間ふるさと館で市民が地域史を学べたり、近世の暮らしに親しめるようにします。					

［注釈］＜法令等の義務＞　法律または政省令による事業実施根拠の有無
＜実　施　手　法＞　直営、委託、指定管理から選択。同一事業内で実施手法が混在するケース有り
＜財　源　構　成＞　一財：一般財源　国：国庫補助金等　県：県費補助金等　市：市債　他：その他特定財源
＜今後の方向性＞　事務事業評価の結果を踏まえた方向性

成果を計る指標

指標の名称	計画策定時（H20）	実績値（H21）	実績値（H22）	実績値（H23）	中間目標値（H23）	最終目標値（H25）
大和市の歴史や文化は、しっかりと継承されていると思う市民の割合	35.8%			41.5%	36.5%	37.0%
歴史文化施設の利用者数	40,999人	81,085人	88,383人	67,621人	42,600人	43,500人

めざす成果に対する評価

・つる舞の里歴史資料館・郷土民家園・下鶴間ふるさと館3館合同企画の実施（年3回）など、市民が楽しみながら歴史文化施設を利用できるような取り組みを増やし、中間目標値（42，600人）を大幅に上回る65，845人（54．6%増）の方に利用いただきました。さらに多くの方に大和市の歴史や文化に親しんでいただくために、今後は地域との連携を深め、新しい企画により、活性化を図る必要があります。
・歴史的公文書のデジタルデータ化により、貴重な資料の保存を進め、歴史的に価値がある資料を体系的に収集・整理し、目録を作成しました。将来的に行政や市民が資料を有効活用するためには、公文書館としての機能を確保する必要があります。